

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	大正区
学 校 名	北恩加島小学校
学校長名	笹井 謙

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・北恩加島小学校では、第6学年 49名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度の全国学力・学習状況調査の結果における教科に関する調査では、国語科・算数科・理科において、平均正答率は、全国平均値と大阪市平均値を下回った。

質問調査においては、生活習慣や学習習慣に関する項目では肯定的回答が少なく課題が見られたものの、自尊感情や規範意識に関する項目では肯定的回答が全国平均値を上回っており、今後の人格形成に向けて前向きな考え方をもっている児童が多くいることが分かった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕学習指導要領の内容別に見ると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、大阪市平均を上回ったものの、他の内容では大阪市平均を下回っている。

〔算数〕学習指導要領の内容別に見ると、全ての内容において大阪市平均を下回っている。

〔理科〕学習指導要領の内容別に見ると、「地球」に関する項目は大阪市平均に近い結果ではあるものの、全ての内容において大阪市平均を下回っている。

以上のように、今年度の結果からは学力に課題がみられることが分かった。特に算数科においては、大阪市平均から大きく離れており、今後、学力向上の取組に力を入れていく必要がある。本校独自に行っている「きたおか検定」の取組に加えて、スクールアドバイザーの定期訪問による授業力アップや大正区施策の「つつじ塾」の活用などを率先して行っていく。

質問調査より

本校の結果では、「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」という項目において肯定的に回答した児童の割合が少なく、生活習慣が整っていない可能性があることが考えられる。また、「読書は好きですか」という項目においても、肯定的に回答した児童の人数が約半数であることから、読書習慣についても身につけていないことが考えられる。

しかしながら、「自分にはよいところがありますか」「人が困っているときは、進んで助けますか」の項目においては肯定的に回答した児童の割合が多く、自尊感情が育っていることや他人に寄り添う姿勢があることがわかった。

今後の取組(アクションプラン)

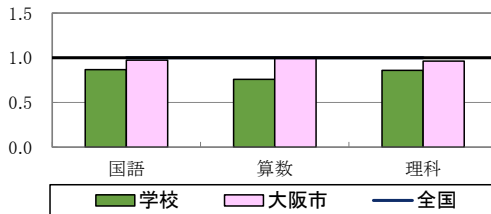
児童の学力向上に向けて、今後、家庭と連携して基本的な生活習慣や家庭学習などの学習習慣を定着できるよう、教育後援会の実施や学校HPにでの学力に関する取組を発信を行うことで、各家庭の学力に関する興味と関心を高めることができるようにする。また、総合的読解力育成カリキュラムの実践を通して、「自分たちで問を考え、自分たちで解を見つけ、新しい価値観ではぐくんでいく」という新しい学力観の定着を図りながら、子どもたちが主体的で対話的に学び、深い学びを追求し、学ぶことが楽しいを思うことができる教育を目指す。

【 全体の概要 】

平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	58	44	49
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

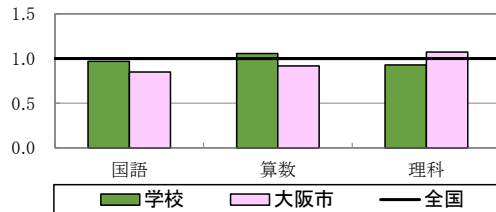
平均正答率(対全国比)



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	3.2	3.8	2.6
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

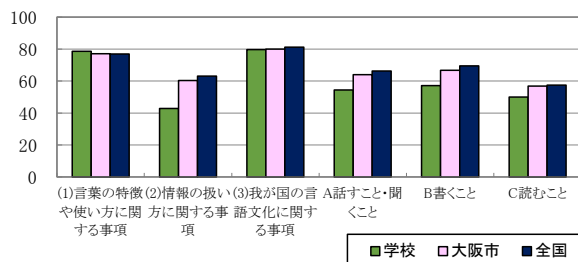
平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	2	78.6	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	42.9	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	79.6	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	54.4	64.0	66.3
B 書くこと	3	57.1	66.7	69.5
C 読むこと	4	50.0	56.9	57.5

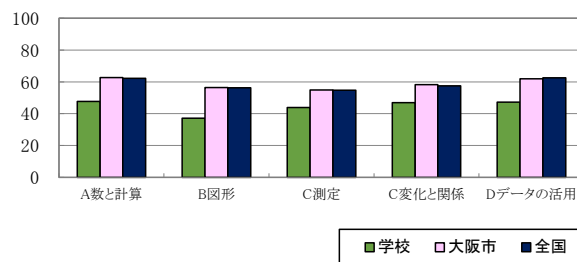
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



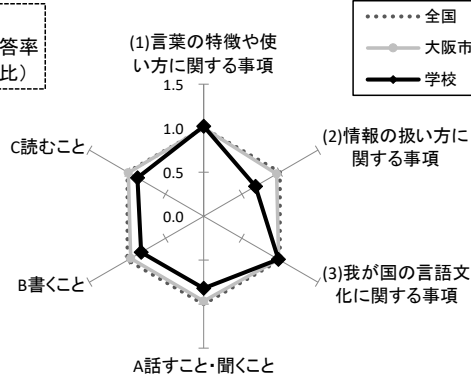
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	47.7	62.7	62.3
B 図形	4	37.2	56.4	56.2
C 測定	2	43.9	54.9	54.8
C 変化と関係	3	46.9	58.2	57.5
D データの活用	5	47.3	61.9	62.6

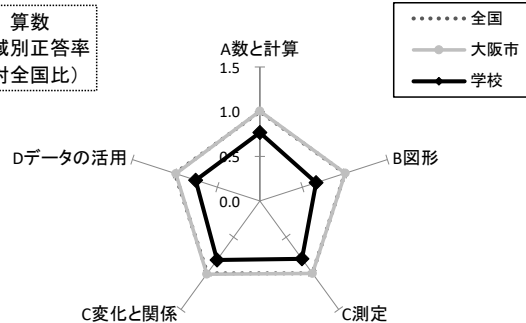
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率 (対全国比)

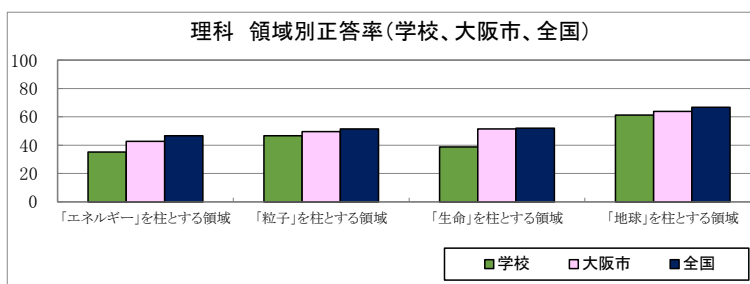


算数 領域別正答率 (対全国比)

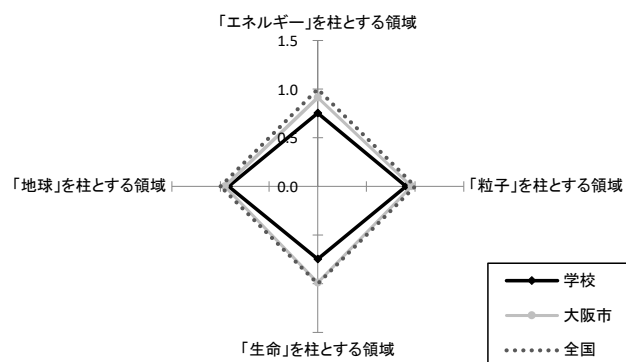


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域		対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	35.2	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	46.6	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	38.8	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	61.2	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

1

2

3

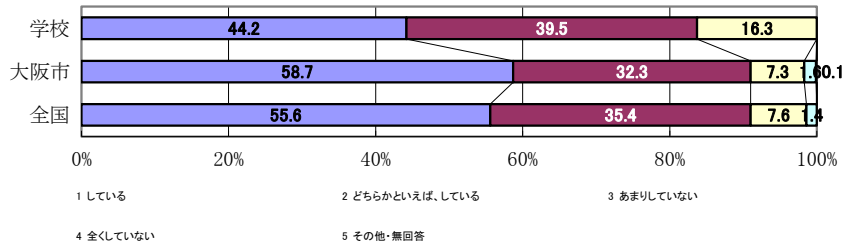
4

5

6

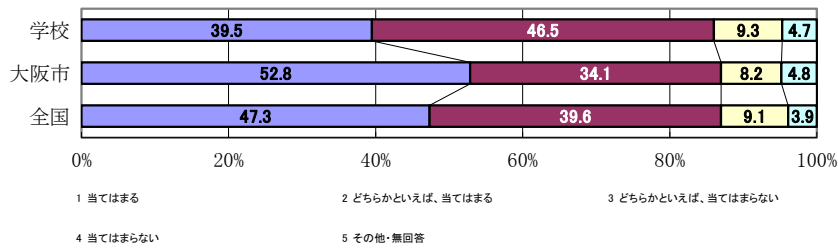
7

8



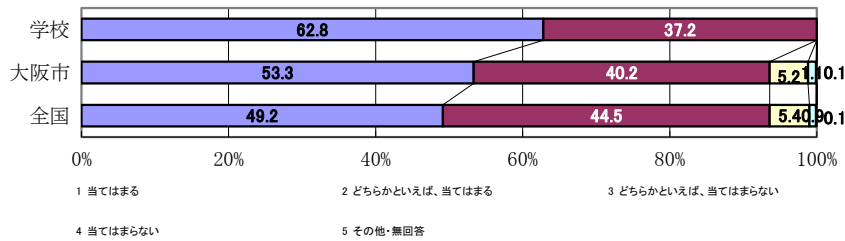
5

自分には、よいところがあると思いますか



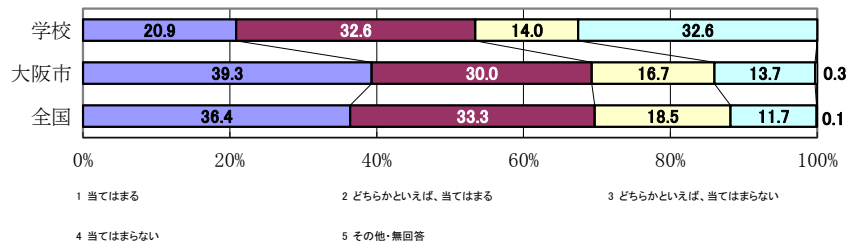
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



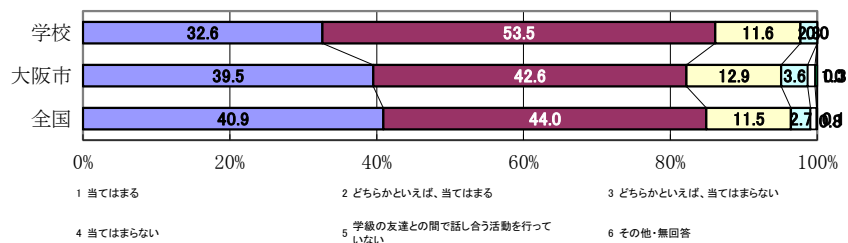
24

読書は好きですか



35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



学校質問より

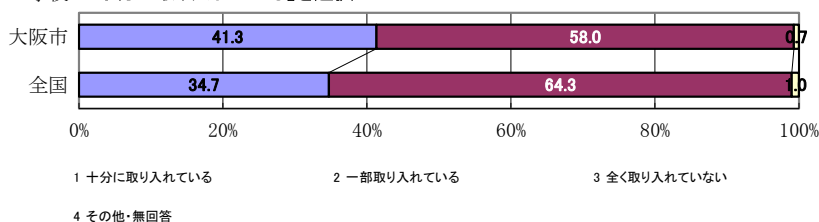
質問番号
質問事項

13

ICTを活用した校務の効率化
(事務の軽減)の優良事例を
十分に取り入れていますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

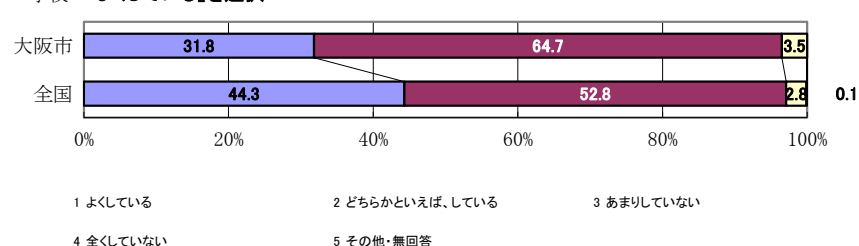
学校 「十分に取り入れている」を選択



15

児童の姿や地域の現状等に関
する調査や各種データなど
に基づき、教育課程を編成し、
実施し、評価して改善を図る
一連のPDCAサイクルを確立し
ていますか

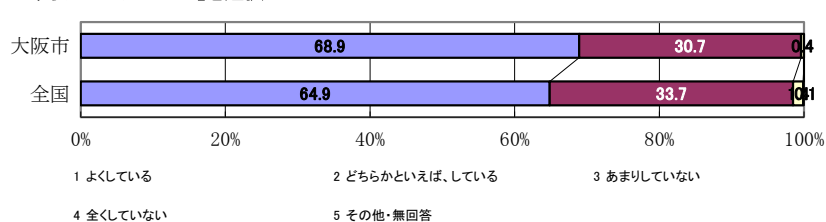
学校 「よくしている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践
的な研修を行っていますか

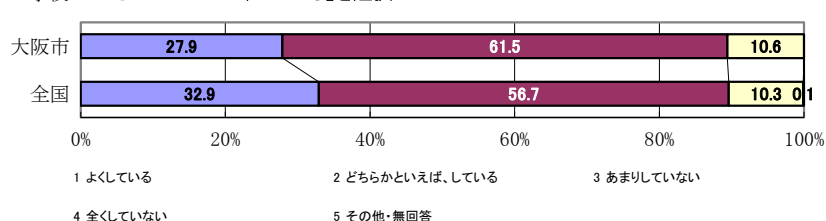
学校 「よくしている」を選択



19

個々の教員が自らの専門性を
高めるため、校外の各教科等
の教育に関する研究会等に定
期的・継続的に参加していま
すか(オンラインでの参加を含
む)

学校 「どちらかといえば、している」を選択



76

地域学校協働活動の仕組みを
生かして、保護者や地域住
民との協働による活動を行
いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

